

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/05		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20162050669001	科目番号 / Subject code	20506690
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	ライフサイクルと健康 / Life cycle with health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松浦 江美 / Matsura Emi, 永田 明 / Nagata Akira, 本多 直子 / Honda Naoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松浦 江美 / Matsura Emi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松浦 江美 / Matsura Emi, 永田 明 / Nagata Akira, 本多 直子 / Honda Naoko		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目, 査定外		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[保]101講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	保健学科1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	emimatsu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-7924 内線7924		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時メールで受け付けます		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	人間を身体的・心理的・社会的側面から理解を深め、保健医療従事者になる者として必要な基本的な事項を学習する。モジュールでは人間の発達や健康問題、障害を日常生活や社会生活と関連して概論的に学習し、モジュールでは各ライフステージや生活の状況における健康問題を掘り下げて学習する。 「ライフサイクルと健康」では、対象を理解するための基本となる各期の心理的・身体的特徴を理解し、発達課題および健康課題を学習する。		
授業到達目標 / Goal	1. 生涯発達の視点からライフサイクルを理解し、発達課題および健康課題について説明できる。 2. 各期の健康課題について説明できる。 3. 1~2より援助を必要とする対象をアセスメントするための基礎知識を理解できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	他のモジュール 科目「生活障害と人間の尊厳」、「障害とインクルージョン」と連動して学習する。 講義、演習、グループワーク		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	ライフサイクル、健康、発達課題		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	配布資料		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート課題40点、グループワーク30点、授業への貢献30点 講義への出席が3分の2に満たない学生は期末試験の受験資格はありません。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	コースオリエンテーション、ライフサイクルとは (松浦)		
第2回	健康とは (永田)		
第3回	新生児・乳児期、幼児期、学童期 守られる存在 (本多)		
第4回	思春期 アイデンティティの模索と確立 (本多)		
第5回	成人期 次世代を育む視点から社会的役割・健康問題 (松浦)		
第6回	壮年期 人生の移り変わり: 発達課題と健康問題 (永田)		
第7回	老年期 老いを生きる: 身体的・社会的役割変化を中心に (松浦)		

第8回	グループワーク1：発達課題と健康問題について（松浦、永田、本田）
第9回	グループワーク2（松浦、永田、本田）
第10回	グループワーク3（松浦、永田、本田）
第11回	家族の健康とライフサイクル（永田）
第12回	グループワーク4（松浦、永田、本田）
第13回	グループワーク発表1：発達課題と健康問題について（松浦、永田、本田）
第14回	グループワーク発表2：発達課題と健康問題について（松浦、永田、本田）
第15回	まとめ（松浦）

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/05		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20162050670001	科目番号 / Subject code	20506700
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	障害とインクルージョン / Disability and inclusion		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 沖田 実 / Okita Minoru, 神津 玲 / Kozu Ryo, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 悟郎 / Tanaka Gorou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 沖田 実 / Okita Minoru, 神津 玲 / Kozu Ryo, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[保]101講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	goro@nagasaki-u.ac.jp, ryokozu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科5階・3階		
担当教員TEL/Tel	田中 (819-7995)、神津 (819-7963)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	田中 : 17:00-18:00 神津 : 月曜日17:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	人間を身体的・心理的・社会的から理解を深め、保健医療従事者になる者として必要な基本的な事項を学習する。 モジュール では人間の発達や健康問題、障害を日常生活や社会生活と関連して概論的に学習する。 「障害とインクルージョン」では、社会的に不利な状況にある障害者や高齢者、子ども、病気を		
授業到達目標 / Goal	みんなが共に暮らしていける社会づくりについて説明できる。 理学療法、作業療法の意義と目的について説明できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	DVDやスライドなど病者や障害者の映像、マスメディアやインターネット記事を見ながら、病者や障害者が抱える今日の問題を考える。他のモジュール 科目「ライフサイクルと健康」「生活障害と人間の尊厳」と連動して学習する。 モジュール の3科目共同でテーマを設定し、このテーマについてグループ学習(6名程度)を行い、プレゼンテーションを行う。		
授業内容 / Class outline / Con	高齢者や障害のある人が社会の一員として生活するために必要な課題と対応について学ぶ。特に、リハビリテーションの中心となる理学療法や作業療法の役割を理解し、共に暮らしていける社会とは何かについて学ぶ。 理学療法 1. 障害をもつ人の生活 (神津) 2. 障害について理解する (神津) 3. 障害者の福祉とその理念 (神津) 4. 障害の医療: リハビリテーションとその考え方 (神津) 5. リハビリテーション医療における理学療法の役割と実際 (沖田) 6. リハビリテーション医療の対象となる身体障害: 各論1 (神津) 7. リハビリテーション医療の対象となる身体障害: 各論2 (神津) 8. 人間の尊厳と終末期におけるリハビリテーション (沖田) 作業療法 1. 精神障害を持つ人の生活支援1 (田中悟郎) 2. 精神障害を持つ人の生活支援2 (田中悟郎) 3. 発達障害を持つ人の生活支援1 (徳永) 4. 発達障害を持つ人の生活支援2 (徳永) 5. 認知症を持つ人の生活支援1 (田中浩二) 6. 認知症を持つ人の生活支援2 (田中浩二)		
キーワード / Key word	障害 インクルージョン 理学療法 作業療法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	配布資料		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業後に出される課題に関するレポート (30%)、授業やグループへの貢献 (20%)、テーマについてのプレゼンテーション (50%) で評価する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			

アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	<p>前の講義で課題を提示する。その課題について事前調査をして講義に臨むこと。講義では、自分の意見が述べられるように準備すること。</p>

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20162050671001	科目番号 / Subject code	20506710
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	健康と運動 / Health and Exercise		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中野 治郎 / Nakano Jirou, 中垣内 真樹 / Nakagaiti Masaki, 坂本 淳哉 / Sakamoto Jiyunya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中野 治郎 / Nakano Jirou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中野 治郎 / Nakano Jirou, 中垣内 真樹 / Nakagaiti Masaki, 坂本 淳哉 / Sakamoto Jiyunya		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部(保)・1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakano-j@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	保健学科3F		
担当教員TEL/Tel	095-819-7919		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	運動不足は運動能力や筋力・骨密度の低下だけでなく、呼吸・循環・代謝・免疫機能などの低下をきたし、生活習慣病、生活不活発病などの原因となる。また、抑うつ、痴呆の進行など心身の機能低下をまねき、生活の質が低下する。健康に生きるための運動の意義と実践方法について学ぶ。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体活動と食事のセルフチェックができる。 2. 運動の理論と実践方法を学ぶ。 3. 人間の健康における運動の意義を理解する。 4. 運動不足がもたらす健康障害を知る。 5. 医療支援について考える。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義にグループワーク、討論、演習、施設見学等を取り入れ、自ら考え、行動する学習法を身につける。		
授業内容/Class outline/Con	<p>1回目9/30 健康と運動について考える (中野)</p> <p>2回目10/7 不活動に対する運動効果 (中野)</p> <p>3回目10/14 腰痛に対する運動効果 (中野)</p> <p>4回目10/21 肩こりに対する運動効果 (中野)</p> <p>5回目10/28 ストレッチの効果 (中野)</p> <p>6回目11/4 生活習慣の振り返りと運動実践の意義を考える (中垣内)</p> <p>7回目11/11 筋力トレーニングの実際 (中垣内)</p> <p>8回目12/2 有酸素性運動の実際 (中垣内)</p> <p>9回目12/9 食事バランスガイドについて (中垣内)</p> <p>10回目12/16 健康運動 Q&A (中垣内)</p> <p>11回目1/6 運動と身体と脳 (坂本)</p> <p>> 12回目1/13 運動とこころの健康 (坂本)</p> <p>> 13回目1/20 運動と疾患 (坂本)</p> <p>14回目1/27 運動と栄養・休養 (坂本)</p> <p>15回目2/3 各ライフステージの健康と運動 (坂本)</p>		
キーワード/Key word	運動、生活習慣、健康		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	随時、資料を配付する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポートおよび授業に臨む態度、グループワーク・討論での積極性、発表内容などを総合判定する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし		
アクセシビリティ /Accessibility			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
9/30	健康と運動について考える (担当: 中野)		
10/7	不活動に対する運動効果 (担当: 中野)		
10/14	腰痛に対する運動効果 (担当: 中野)		
10/21	肩こりに対する運動効果 (担当: 中野)		
10/28	ストレッチの効果 (担当: 中野)		

11/4	生活習慣の振り返りと運動実践の意義を考える（担当：中垣内）
11/11	筋力トレーニングの実際（担当：中垣内）
12/2	有酸素性運動の実際（担当：中垣内）
12/9	食事バランスガイドについて（担当：中垣内）
12/16	健康運動 Q&A（担当：中垣内）
1/6	運動と身体と脳（坂本）
1/13	運動とこころの健康（坂本）
1/20	運動と疾患（坂本）
1/27	運動と栄養・休養（坂本）
2/3	各ライフステージの健康と運動（坂本）

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/06/08 ~ 2016/08/02		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20162050672001	科目番号 / Subject code	20506720
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	健康を支える家族と社会 / Health, Family and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO, 本田 純久 / Honda Sumihisa, 大町 いづみ / Oomati Idumi, 金丸 由美子 / kanamaru yumiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO, 本田 純久 / Honda Sumihisa, 大町 いづみ / Oomati Idumi, 金丸 由美子 / kanamaru yumiko		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[保]101講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	保健学科1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hirano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科研究棟4階		
担当教員TEL / Tel	095-819-7940		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメールでアポイントメントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	保健・医療・福祉領域における今日の家族および地域社会のありかたについて、定義、機能、健康問題との関連性、今後の課題などを、現在、保健・医療・福祉領域において活動するゲストスピーカーによる話題を分析・考察することを通し、理論的および実践的に学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	健康・病気と、それらをめぐる家族および社会のありかたについて、実践例を踏まえ、論理的に説明することができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	健康・家族・社会の関連性についての概念的枠組、事例検討を、ゲストスピーカー、学内非常勤講師による実践例を参照しつつ、自ら調査してまとめ、発表を行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	健康、家族、社会、ソーシャル・キャピタル		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	90%課題学習の発表・レポート、10%授業への積極的な取り組み状況。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	単位取得を希望する者は、自己責任にて、期限内に授業の登録を行うこと。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいる。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)に相談すること。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	レポートの課題は計4本課される。これらは成績評価の90%を占めるため、一つでもレポートを提出するのを怠ると、単位取得は難しくなるので、了承の上受講すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	6月10日(1校時): イントロダクション、健康・家族・社会の関係(1)(平野)		
第2回	6月10日(2校時): 健康・家族・社会の関係(2)(平野)		
第3回	6月17日(1校時): 課題学習(1)(平野)		
第4回	6月17日(2校時): 高齢者の社会的孤立(本田)		
第5回	6月24日(1校時): 高齢者を支える地域のつながり(本田)		
第6回	6月24日(2校時): ソーシャル・キャピタルと健康(本田)		
第7回	7月1日(1校時): ソーシャル・キャピタルと健康-鶴の尾町の事例(平野)		
第8回	7月1日(2校時): 鶴の尾町「助っ人隊」の活動について(鶴の尾町自治会長)		
第9回	7月8日(1校時): 退院支援: 病院から地域へ(金丸)		
第10回	7月8日(2校時): 健康と家族 事例検討(1)(大町)		
第11回	7月15日(1校時): 健康と家族 事例検討(2)(大町)		

第12回	7月15日（2校時）：健康と家族 事例検討（3）（大町）
第13回	7月22日（1校時）：健康・家族・社会の関係（3）（平野）
第14回	7月22日（2校時）：地域で生活する患者を支援する（長崎大学病院メディカル・ソーシャル・ワーカー）
第15回	7月29日（1校時）：最終レポート

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20162050673001	科目番号 / Subject code	20506730
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	暮らしと環境 / Community living and environment		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中尾 理恵子 / Nakao Rieko, 田中 準一 / Junichi TANAKA		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中尾 理恵子 / Nakao Rieko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中尾 理恵子 / Nakao Rieko, 田中 準一 / Junichi TANAKA		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	rieiko@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	保健学科4階		
担当教員TEL/Tel	819-7946		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の午後 メールでアポイントを取ってください		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>環境と人々の暮らしや健康とのかかわりについて理解できる。まちづくりや社会経済といった物理的な環境とソーシャルサポートといった人的環境の両面からとらえ、医療者の基礎的な支援の視点を学ぶ。</p> <p>地域社会の中で人々の生活に関連する環境をハード面、ソフト面の両面から理解する。ハード面とは、地理的状況、アクセスフリー、バリアフリー、斜面市街地、住環境、障害者用住宅といった外部としての環境であり、ソフト面とは、社会システム、人的環境、ソーシャルサポート、まちづくりといった内部としての環境である。講義には、長崎市の斜面市街地体験、バリアフリーマップ作成を含む。</p>		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人々の暮らしについて様々な形態があることを理解できる。 2. 人々の暮らしに影響を及ぼす要因を述べるができる。 3. 斜面市街地の現状と人々の暮らしへの影響について述べるができる。 4. 福祉住環境整備、医工連携による支援内容がわかる。 5. 地域の中でソーシャルサポートとまちづくりがわかる。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>人々の暮らしについて貧困や地域格差といった社会環境、斜面地域といった物理的不利環境、住環境整備、高齢者や障害への工学的支援、まちづくりサポートなどの多面的な視点からの講義をうけ、グループワークを通して意見交換を行う。</p> <p>実際に学外に出て長崎市の斜面地探検の体験、バリアフリーマップの作成を行いグループワークレポートと個人レポートによる学習成果のまとめを行う。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>ガイダンス (中尾)</p> <p>斜面市街地と人々の暮らし 外出支援について (中尾)</p> <p>環境と健康の関連から生ずる諸問題 (中尾)</p> <p>バリアフリーマップ作成 (中尾)</p> <p>社会的不利条件と人々の暮らし1 (田中準一)</p> <p>社会的不利条件と人々の暮らし2 (田中準一)</p> <p>バリアフリー住宅と高齢者専用住宅 (斜面研究会理事 一級建築士 平野啓子)</p> <p>障害者の在宅環境と支援 (石松隆和, 高齢者生活支援研究会)</p> <p>人々の支えあいのまちづくり (北陽町つんなむ会 三浦隆)</p> <p>長崎市の斜面市街地開発 (環境科学部 杉山和一)</p> <p>学外演習「斜面地探検」 この2回分の講義は12月10日(土)「斜面地探検」への学外演習「斜面地探検」 参加で読み替える</p> <p>斜面市街地探検での発見 [グループディスカッションと発表会]</p> <p>地域活動とQOL (中尾)</p> <p>人々の暮らしを考えた地域づくり [まとめ] (中尾)</p>		
キーワード/Key word	地域 環境 暮らし 社会的不利		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	配付資料		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な取り組み状況30%, グループワーク参加と発表内容・評価30%, レポート・定期考査40%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility			
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	毎回の講義でのグループ発表と、地域に実際に出での体験を含むアクティビティが高い講義です。主体的な参加を求めます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	講義ガイダンスとスケジュール (中尾)
第2回	斜面市街地と人々の暮らし 外出支援について (中尾)
第3回	環境と健康の関連から生ずる諸問題 (中尾)
第4回	バリアフリーマップ作成 (中尾)
第5回	社会的不利条件と人々の暮らし1 (田中準一)
第6回	社会的不利条件と人々の暮らし2 (田中準一)
第7回	バリアフリー住宅と高齢者専用住宅 (斜面研究会理事 一級建築士 平野啓子)
第8回	障害者の在宅環境と支援 (石松隆和, 高齢者生活支援研究会)
第9回	人々の支えあいのまちづくり (北陽町つんなむ会 三浦隆)
第10回	長崎市の斜面市街地開発 (環境科学部 杉山和一)
第11回	学外演習「斜面地探検」
第12回	学外演習「斜面地探検」 第11回, 12回の2回の講義は、12月10日(土)「斜面地探検」への参加で読み替えます。
第13回	斜面市街地探検での発見 [グループディスカッションと発表会]
第14回	地域活動への参加とQOL (中尾)
第15回	人々の暮らしを考えた地域づくり [まとめ] (中尾)

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/07		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20162050678001	科目番号 / Subject code	20506780
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人の発達と成長 (H28年度入学者)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鶴崎 俊哉 / Tsurusaki Toshiya, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鶴崎 俊哉 / Tsurusaki Toshiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鶴崎 俊哉 / Tsurusaki Toshiya, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[保]101講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	toshiya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科 3階		
担当教員TEL / Tel	095-819-7960 (内線: 7960)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月・水・金の12:00-12:50 火・木の17:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	人の定型発達と発達に影響を与える因子について多面的に学び、発達に障害がある場合と対比させることで発達に関する理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	医療者として発達を援助するために必要な知識、考え方を身につける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	教員およびゲストスピーカーの講義による話題提供の後、各自調べ学習を行いグループワークを行う。最終的には発達をいかに援助するかについてプレゼンテーションを行う。		
授業内容 / Class outline / Con	定型発達に関して看護、作業療法、理学療法、保育の立場から講義・話題提供を行い、関連する知識についての調べ学習、グループワークを通して多面的に発達に関連する因子について考察する。また、発達を援助する立場に立ったとき、それぞれの立場でどのような援助ができるかについてプレゼンテーションにより自らの考えを伝える手法についても学習する。		
キーワード / Key word	定型発達 こども		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない (必要に応じて資料を配付する)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	グループワークへの貢献 (30%), プレゼンテーション (20%), 定期試験 (50%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	こどもの発達を多職種の立場から解説します。 専門職としての基本的知識としてだけでなく、将来親になった時にも役立てて欲しい内容です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション, 運動発達: 鶴崎 運動発達に関するグループワーク		
第2回	認知・対人関係・情動・行動の発達: 岩永 認知・対人関係・情動・行動の発達に関するグループワーク		
第3回	母子関係・摂食の発達: 森藤 母子関係・摂食の発達に関するグループワーク		
第4回	遊びの発達・集団行動の発達: ゲスト(保育園園長 柿田先生) 遊びの発達・集団行動の発達に関するグループワーク		
第5回	遺伝: 森藤 遺伝に関するグループワーク		
第6回	発達障害: 岩永 発達障害に関するグループワーク		
第7回	運動発達の問題: 鶴崎 運動発達の問題に関するグループワーク		
第8回	総括 定期試験		